



小学生駅伝大会（平成25年12月）

5年後の
めざす姿

○学校・地域・家庭が手を携えて、子どもたちの「生きる力」を育てていきます。

これまでの成果

- 計画策定当初、区の子どもたちの学力は、全国や東京都の平均を下回っていましたが、基礎学力の定着に取り組んできた結果、中学3年生における大田区学習効果測定^{*1}の達成率は策定時の58.3%から60.6%まで向上しました。
- 平成25年度全国学力・学習状況調査における区の子どもの状況は、小学6年生は都及び全国の平均を上回り、中学3年生は全国の平均まであと一歩というところまで上昇しています。また、中学3年生の「自分によいところがある」との回答は、策定時の58.1%から65.0%に、「学校での規則を守っている」との回答は、83.0%から91.9%に上昇しました。不登校生徒出現率も、策定時の3.73%から3.05%に改善しています。
- 日本語指導では、小・中学校それぞれに日本語指導学級を開設し、指導の充実を図るとともに、いじめへの取り組みでは、リーフレットの作成や研修会の実施などにより、教師の意識を高め、未然防止及び早期発見・早期対応に努めています。
- この間、小中学校の94%^{*1}で、学校支援地域本部^{*2}の設置が進み、家庭を含め、地域ぐるみで学校を支援する体制を整備しました。教育環境の整備としては、羽田中学校や嶺町小学校の改築のほか、11校の校庭芝生化や壁面等の緑化^{*}を実施しました。

^{*}1 平成26年3月1日現在 87校中82校へ設置

現状と課題

- 子どもたちの「生きる力」を育てていくことは、教育の恒常的な課題です。
- この間、基礎学力の定着についての成果は上がっており、今後も習熟度に応じた指導や特別支援教育^{*3}の推進など、子どもたちの個性や学校ごとの課題を踏まえた支援とともに、体験学習をはじめとしたキャリア教育を推進します。
- 一方、体力テストにおける大田区の子どもの体力合計点^{*4}が全国平均値を下回っていることが、課題となっています。体力は人間の活動の源であり意欲・気力とも深く関わっており、「生きる力」に通じる重要な要素です。子どもたちの体力向上をめざし、重点的な施策を展開することが求められています。
- 不登校生徒の出現率は減少していますが、依然として都の平均より高いため、今後も不登校施策を進める中で、学校や家庭のサポート体制を充実する必要があります。
- 世界の玄関口である羽田空港を有する区の子どもたちが、多様な文化とふれあい、世界の人と交流ができるよう、国際理解教育の充実が重要です。
- これまで、地域力を活用した教育活動の充実のため、学校支援地域本部^{*}の設置に取り組んできました。今後は、この活動を活性化させ、家庭、地域、学校がそれぞれの役割を意識しながら、地域力を活かした学校サポート体制を一層充実していくことが課題です。

指標に
注目!

◆ めざす姿にどれだけ近づいたかを測るモノサシ(指標)と目標値

モノサシ(指標)	未来プラン策定時の「現状」	25年度		30年度
		中間目標	最新値	目標値
大田区学習効果測定【中3数学・期待正答率を超えた生徒の割合】(%)	58.3% (平成20年度)	60.0%	60.6% (平成25年度)	62.0%
不登校生徒出現率【中学校】(%)	3.73% (平成19年度)	3.43%	3.05% (平成24年度)	2.88%
体力合計点【小6男女】(点)	男子 60.62点 女子 60.30点 (参考:平成23年度)	—	男子 60.21点 女子 60.15点 (平成25年度)	男子 61.01点 女子 61.59点

施策の体系

枠で囲んである事業は、その主な取り組み内容を次ページ以降で紹介しています。

未来を担う子どもたちを育てます

① 基礎・基本的な学力を習得する教育の推進

■ 基礎学力の定着

■ 習熟度別指導の充実

↳ 習熟度別少人数授業の推進、習熟度別指導講師の配置

■ 理科教育の推進

■ 読書活動の推進

↳ 各学校の読書活動推進計画に基づいた読書活動の充実、地域や図書館による学校図書館支援事業など

■ 小中一貫教育^{*5}の推進■ ICT^{*6}教育の推進

■ 国際理解教育の推進

■ 海外からの児童・生徒への日本語指導の充実

② 豊かな人間性を育む教育の推進

■ 教育相談の充実

↳ 教育相談員等による学校訪問など、学校と連携した不適応状態の児童生徒に対する支援強化

■ スクールカウンセラー事業の充実

↳ スクールカウンセラーによる校内の教育相談体制確立のための支援活動の実施

■ 不登校施策の充実

■ 人権教育の推進

↳ 人権学習資料の作成、児童・生徒の作品による人権啓発作品展、教員への人権教育研修など

■ 体験学習・キャリア教育の推進

■ 幼児教育への支援

↳ 幼稚園教諭・保育士合同研修、保幼小の交流及び連携事業、幼児教育相談など

*1 大田区学習効果測定

児童・生徒一人ひとりの基礎的・基本的な学習内容の定着状況を把握し、授業改善を図ることを目的に実施する学力調査。小学校第4学年から中学校第1学年は、国語、社会、算数・数学、理科、中学校第2・3学年はこれに英語が追加される。

*4 体力合計点

文部科学省が定めた反復横跳び、50m走、ソフトボール投げなど、8種目(80点満点)の実技における体力や運動能力を得点化し、その得点の合計点。

*2 学校支援地域本部

区立小中学校の教育活動の充実及び発展を図るために、地域社会の協力により学習支援、環境支援などを行うことを目的として設置する学校支援組織。

*5 小中一貫教育

小学校で行われる教育と中学校で行われる教育内容を連携させ、一貫性をもたせた体系的な教育を行うこと。

*3 特別支援教育

障がいなどにより、学習上・生活上の困難がある子どもに対して、小中高校などに準ずる教育と自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする教育。

*6 ICT

情報(Information)や通信(Communication)に関する技術(Technology)の総称。

生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち

未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします

未来を担う子どもたちを育てます

3 たくましく生きるための健康・体力をつくる教育の推進

■ 体力向上の推進

- 食育*の推進、基本的生活習慣の確立
↳ 各学校に食育リーダーを配置、「早寝・早起き・朝ごはん月間」の実施など
- 部活動の推進
↳ 地域の人材などを校外指導員として活用し、部活動を支援
- 運動遊びの充実
↳ 運動遊び指導リーダー保育者養成研修、保幼小連携運動遊び指導者研修、親子運動遊び講座

4 教育の質の向上と環境の整備

- 教員の指導力向上
↳ 各種専門研修、英語教員国際化促進事業など
- 特別支援教育*の推進
↳ 特別支援学級を必要地域に増設し、障がいのある児童生徒の指導・支援を充実

■ 学校施設の改築

■ 学校施設の緑化の推進

- 校外施設の整備
↳ 区立小学校が宿泊して体験学習を行う伊豆高原学園を改築（区民利用可）
- 学校運営システムの活用
↳ 学校間及び教育委員会内を結ぶネットワークを活用した学校事務の効率化
- 学校支援体制の整備
↳ 学習支援講師の配置、生活指導支援員の配置、学校支援ボランティアの活用など

5 地域力を活かした教育支援

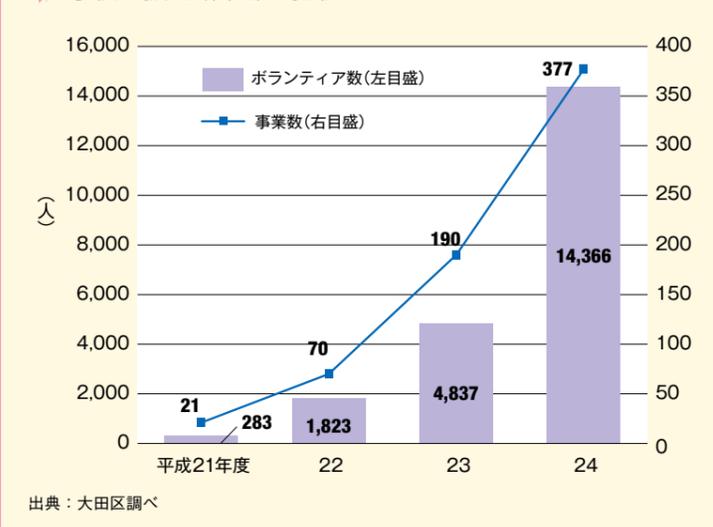
- 開かれた学校づくりの推進
↳ 学校公開の実施、ホームページによる学校情報の公開など
- 夏季特別指導の拡充
↳ 夏季特別指導（夏のわくわくスクール）の実施

■ 学校支援地域本部*の充実

- 子ども安全・安心の推進
↳ 児童誘導業務委託、学校緊急連絡システムなど
- 家庭の教育力の向上
↳ 家庭・地域教育力向上支援事業、家庭教育学習会、PTA研修会

参考データ

▶ 学校支援地域本部の推移



施策の方向性と主な事業

1 基礎・基本的な学力を習得する教育の推進

基礎・基本的な学力を身に付け、自ら課題を見つけ、学び、考え、主体的に判断し、行動する資質や能力が身に付く教育を推進します。また、ICT*への対応、国際社会で活躍する人材の育成など、社会の変化に応じた柔軟な教育施策を展開します。

主な事業

■ 基礎学力の定着

学習カルテ*7を基に、児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまづきや学習方法について指導し、基礎学力の定着を図ります。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
学習カルテ*に基づいた学習カウンセリング(面談)の実施	実施					継続

■ 理科教育の推進

文部科学省教育課程特例校としての「サイエンスコミュニケーション科」、おおたサイエンススクール（理科教育研究推進校）でもある清水窪小学校の授業公開や研究発表、施設の活用をととして、理科好きな児童・生徒を育成するとともに、教員の指導力を向上させます。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
おおたサイエンススクールの授業公開・研究発表会の実施		発表会		継続実施		拡充
小・中学校理科授業力向上研修の充実	検討	実施				継続

■ 小中一貫教育*の推進

各種小中一貫教育*プログラムを実施し、小中学校の行動連携を充実させ、小学校から中学校へのより円滑な接続と基礎学力の向上、規範意識*等の育成をめざし、小中一貫教育*を推進します。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
小中一貫による教育の視点に立った学習指導の工夫	検討		実施			継続
小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実	検討		実施			継続
小中一貫による教育の視点に立った体力向上の取組	検討		実施			継続

*7 学習カルテ

大田区学習効果測定の結果や日常の学習内容の定着度を把握し、児童・生徒一人ひとりの学習状況を記録したもの。

ICT*教育の推進

電子黒板やタブレットPCなどのICT*を積極的に授業に活用することで児童・生徒の学力の定着と学ぶ意欲の伸長をめざします。そのために、ICT*活用推進モデル校を設置し、ICT*の授業への活用方法を研究し、その成果を全校で共有します。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
ICT*活用の検討	計画策定	検証・検討				継続
ICT*活用推進モデル校実施		導入	実施			拡充

国際理解教育の推進

英語教育指導員との英語によるコミュニケーションを楽しむことのできる英語カフェ*⁸を実施するなど、英語を活用したコミュニケーション能力や、日本及び世界の伝統や文化を尊重し、国際社会に貢献できる力の育成をめざし、国際理解教育の推進を図ります。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
英語カフェ*の実施	実施					継続

海外からの児童・生徒への日本語指導の充実

日本語指導が必要な外国人児童・生徒や、海外から帰国した児童・生徒に日本語指導を行います。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
日本語特別指導(初期指導)	年60時間					継続
日本語学級(蒲田小学校・蒲田中学校)	指導実施					継続

2 豊かな人間性を育む教育の推進

自らを律しつつ、他人を思いやる心や感動する心を養う教育を推進します。また、子どもの個性や心身の状況に対応した支援ができるよう、教育センターの教育相談や学校へのスクールカウンセラーの派遣など、子どもたちの心のサポート体制を充実します。

*8 英語カフェ

コミュニケーション能力の育成を目的とし、外国語活動・英語の授業において学んだことを活用し、外国人とコミュニケーションを図ることの楽しさを体験できる場。

主な事業

不登校施策の充実

教育センター教育相談員の学校訪問・スクールカウンセラーの全校配置・スクールソーシャルワーカー*⁹の活用により、学校不適應の早期発見・早期支援、不登校状態の児童・生徒に対するケース支援を充実します。また、適応指導教室*¹⁰での学習指導の充実を図ります。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
教育相談員の学校訪問・ケース支援	実施					継続
スクールカウンセラーの活用	実施					継続
スクールソーシャルワーカー*の活用	配置					継続
適応指導教室*での学習指導の充実		充実				継続

体験学習・キャリア教育の推進

自然に親しむ体験、職場訪問・見学や職場体験を通して、より良い人間関係や社会性、集団への所属感や連帯意識を深めつつ、生きること働くことの尊さを実感するなど、キャリア教育*¹¹の視点に立った教育を充実します。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
自然体験活動の充実	検討	実施				継続
職場体験活動の充実	検討	実施				継続

3 たくましく生きるための健康・体力をつくる教育の推進

たくましく生きるための健康・体力づくり等、人間の活動の源であり意欲・気力とも深く関わっている体力の向上を推進します。また、身体の成長に大きく関わる、食育*の推進や基本的生活習慣の確立など、家庭における教育を支援します。

*9 スクールソーシャルワーカー

社会福祉等の専門的知識、技術を活用し、問題を抱えた児童・生徒を取り巻く環境に働きかけ、家庭、学校、地域の関係機関をつなぎ、児童・生徒の悩みや抱えている問題の解決に向けて支援する専門家。

*10 適応指導教室

不登校状態の児童・生徒が家で引き籠りにならないよう、在籍する学校以外の場所で生活習慣の改善や学習指導を受けながら集団活動を体験できるよう設置した施設。

*11 キャリア教育

子どもが自身の生き方について主体的に考え、進路や職業を選択・決定できる能力を養成する教育。

主な事業

■ 体力向上の推進

体育・健康教育授業地区公開講座（体育等の授業公開、体力調査結果の公表、保護者や地域の方との意見交換会）や小学生駅伝大会を実施し、体力向上の意識啓発をするとともに、各校の体力向上の取り組みをさらに推進します。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
小学生駅伝大会の実施		→				継続
体育・健康教育授業地区公開講座		→				継続

4 教育の質の向上と環境の整備

子どもたちのよりよい学びを支える教員の指導力を一層向上させるとともに、子どもたちが安全・安心な環境で、のびのびと学ぶことができるよう、施設の整備や講師・支援員の配置など学校サポート体制を充実し、教育を支える環境を整備・充実します。

主な事業

■ 学校施設の改築

良好な教育環境づくりを進めるとともに、今後、大量に見込まれる学校施設等の改築需要に対応するため、計画的な改築を進めます。



平成27年度に改築工事完了予定の嶺町小学校

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
嶺町小学校		→完了 改築工事 外構				
東六郷小学校		→完了 改築工事 改築工事 改築工事 改築工事 外構				
志茂田中学校		→完了 実施設計 改築工事 改築工事			仮設撤去	
志茂田小学校		→完了 実施設計 改築工事 改築工事 改築工事				
大森第四小学校		→継続 基本計画 基本設計 実施設計 改築工事 改築工事				
入新井第一小学校 ほか1校		→継続 基本計画 基本設計 実施設計 改築工事				
改築予定校	2校		→継続 基本計画 基本設計 実施設計			
	2校		→継続 基本計画 基本設計			
	2校		→継続 基本計画			

■ 学校施設の緑化の推進

地球にやさしいまちづくりとともに、子どもたちの環境教育の充実を図るため、学校施設を活用した緑化を推進します。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
壁面 ^{*12} ・屋上緑化 ^{*13} ・校庭芝生化等	2校	4校	4校	4校	4校	継続



久原小学校のアプローチデッキの芝生



仲六郷小学校の屋上緑化

5 地域力を活かした教育支援

学校を地域のコミュニティ^{*14}の拠点として位置づけ、家庭、地域及び学校が、それぞれの役割と責任を自覚し、連携強化を図り、地域の人々とともに地域ぐるみで子どもたちを育てていきます。また、学校支援地域本部^{*}の活動を活性化させ、地域力を活用した学校サポート体制を充実します。

主な事業

■ 学校支援地域本部^{*}の充実

学校支援地域本部^{*}の事業が円滑に運営されるよう、学校支援コーディネーター^{*15}等に対する研修を実施します。学校支援地域本部^{*}間の連携と情報の共有化を図るとともに実施成果を踏まえ事業の充実をめざします。

(平成/年度)	26	27	28	29	30	31~
学校支援コーディネーター等の研修の実施	→					継続
学校支援地域本部 [*] 間の連携・情報の共有化	→					継続

^{*12} 壁面緑化
建築物、塀、壁などをつる性植物等で覆うこと。

^{*13} 屋上緑化
建物の屋上スペースに樹木や草花などを植栽すること。

^{*14} コミュニティ
共同意識を持った住民による社会。

^{*15} 学校支援コーディネーター
「こんなことがしたい、手伝ってほしい」という学校の希望と、「経験や知識を活かしたい、子どもたちの役に立ちたい」という地域の方の思いを橋渡しする人。